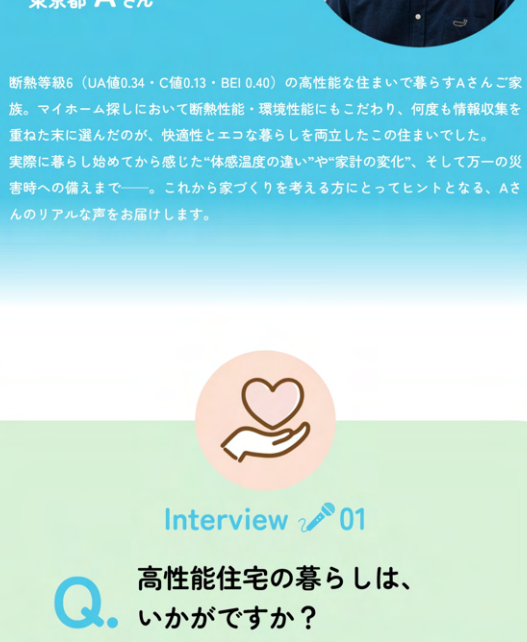


子育て世帯なら
知っておきたい！

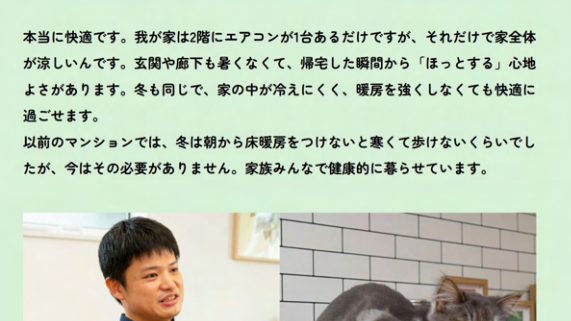
環境性能の高い住宅選びが『生活の質』向上につながる！

今までの
家選びまずは、自分たち好みの
デザインや間取りを
優先して住まい！これからの
家選び環境性能の
高い住宅に住むことが、
自分たちの『生活の質』の
向上につながる！

環境性能の高い家 燃費がよくて心地よい家



▼セイズのオーナー様インタビューはこちら▼



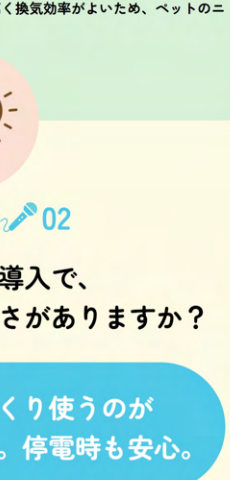
Interview

環境性能の高い家で
暮らすオーナー様に
お話を伺いました。高性能住宅に暮らして、わかったこと。
「快適・省エネ・安心、そのすべてが体感できる住まい」

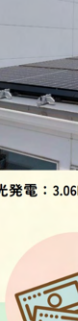
Customer's VOICE 住まい手の声

●お話を伺ったオーナー様

東京都Aさん



断熱等級6（UA値0.34・C値0.13・BEI 0.40）の高性能な住まいで暮らすAさんご家族。マイホーム探しにおいて断熱性能・環境性能にもこだわり、何度も情報収集を重ねた末に選んだのが、快適性とエコな暮らしを両立したこの住まいでした。実際に暮らして初めて感じた「体感温度の違い」や「家計の変化」、そして万一の災害時の備えまで……。これから家づくりを考える方にとってヒントとなる、Aさんのリアルなお話を伺います。



Interview 01

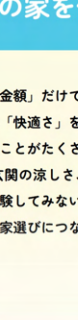
Q. 高性能住宅の暮らしは、
いかがですか？A. どの部屋にいても快適。
温度差がないから健康的です。

本当に快適です。我が家は2階にエアコンが1台あるのですが、それだけで家全体が涼しいんです。玄関や廊下も暑くなくて、帰宅した瞬間から「ほっとする」心地よさがあります。冬も同じで、家の中が冷えにくく、暖房を強くしなくても快適に過ごせます。

以前のマンションでは、冬は朝から床暖房をつけなくて寒くて歩けないくらいでしたが、今はその必要がありません。家族みんなでも健康的に暮らしています。



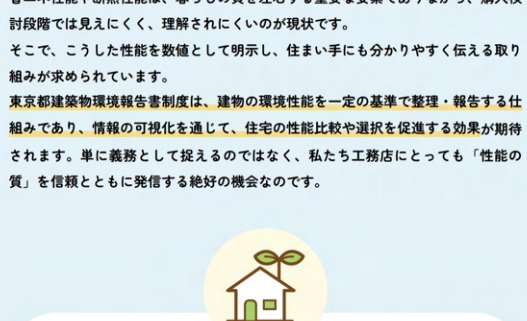
愛猫がいるAさんの住まい。気密性も極めて高く換気効率もよいため、ペットのニオイも全く感じない。



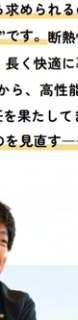
Interview 02

Q. 太陽光発電の導入で、
どのような良さがありますか？A. 家で電気をつくり使うのが
嬉しいですね。停電時も安心。

太陽光発電を聞くと、以前は「電気を売れるもの」という印象でしたが、今は「つくってその場で使う」ほうが実感として大きいんです。発電した瞬間から「ほっとする」心地よさを感じています。また、停電時も、太陽光発電と直結していることで使える非常用コンセントもあるのでとても安心感がありますね。



屋上スペースの様子。太陽光発電：3.06kW エネコン100L（ハイブリッド給湯器）を完備している。



Interview 03

Q. 高性能住宅のイニシャル
コストについてどう考えますか？A. 最初は高くても月々の光熱費や
補助制度等でしっかり納得。

マイホーム購入を検討した当初は、現在の住まいは予算をオーバーでしたが、来永く快適に暮らすことに魅力を感じ、思い切って決断しました。実際に暮らしてみると、光熱費が驚くほど低く、少ないエネルギーで快適な暮らしを実現していることがわかり、高い初期コストは、ランニングコストや節税・補助制度があることで考えると、良い選択だったと感じています。



以前住んでいたマンション時代から光熱費を記録していたAさん。新居に移ってから前住のマンションと比較すると、月々のエネルギーコストの明確な差を実感。さらに快適性も上がったことで、満足度の高い暮らしを愉しんでいる。



Message

Q. これから家を検討する方に
アドバイスはありますか？A. まずは現地へ赴き、積極的に
実際の家を体感してください。

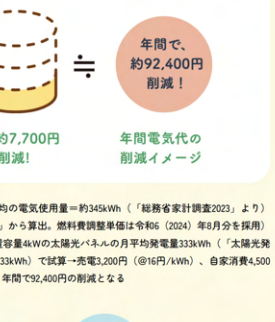
ネットや資料に書いてある「金額」だけで住まいを判断せずに、住宅性能などもしっかり調べたうえで、まずは「快適さ」を体感してみてください。そうすると何を優先すべきか、感じることも変わってくると思います。

今の家も、見学したときの玄関の涼しさ、住まいの心地よさで購入を決めました。住まいの快適さって、体験してみないと分からないんですよね。とにかく行動を起こすことが、後悔しない家選びにつながると思います。



Builder's VOICE つくり手の声

●Aさんの家を建てたビルダー

セイズ株式会社/代表
及川達也さん

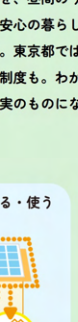
高性能住宅の普及を牽引する電動化の工務店。令和6年度「東京エコビルダーズアワード」では、建築物環境報告書制度の基準を先取りした取り組みにより、断熱・省エネ性能部門と再生エネルギー設置量部門の2部門で「リーディングカンパニー賞」を2年連続で受賞している（※令和5年・6年度に受賞。右のトロフィー）。



見えにくい住宅性能を、正しく伝えるために。東京都建築物環境報告書制度が果たす役割。

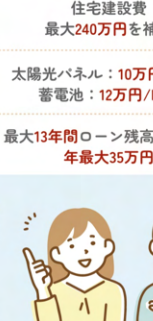
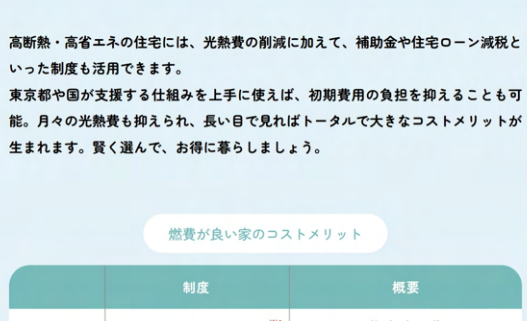
省エネ性能や断熱性能は、暮らしの質を左右する重要な要素でありながら、購入検討段階では見えにくく、理解されにくいのが現状です。そこで、こうした性能を数値として明示し、住まい手にも分かりやすく伝える取り組みが求められています。

東京都建築物環境報告書制度は、建築物の環境性能を一定の基準で整理・報告する仕組みであり、情報の可視化を通じて、住宅の性能比較や選択を促進する効果が期待されます。単に義務として捉えるのではなく、私たち工務店にとっても「性能の質」を信頼とともに伝える絶好の機会なのです。

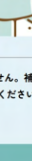
見た目や価格だけで選ばない。
住まいは「性能」で選ばれるべき。

住宅の価値を「見た目」や「価格」だけで判断する時代は、もう終わりを迎えています。これから求められるのは、家族の健康や安心、将来の暮らしを支える「住宅性能」です。断熱性、省エネ性、耐久性といった目に見えにくい部分こそが、長く快適に暮らすために欠かせない要素。だからこそ、私たちは以前から、高性能な家づくりに真剣に向き合い、丁寧に説明する責任を果たしてきました。

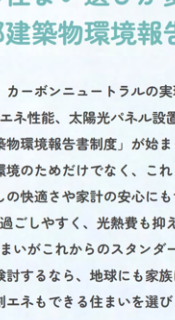
住まいの選び方そのものを見直す。いま、そんな転換点にきていると実感しています。



閉じる



そもそも燃費の良い住まいとは？

Insulation
高い断熱性Ecology
高い省エネ性Energy
再生可能エネルギー
の活用

燃費の良い環境性能住宅がもたらす トータルコストメリット

Total
Cost Merit高い断熱性
Insulation健康的な暮らしにも一役買う
年中一定の室内環境。

窓やドア・壁の断熱性能を高めることで、夏の暑さや冬の寒さをしっかり遮り、室内の温度が安定します。冷暖房の効率も良くなり、少ないエネルギーで快適さをキープ。室温のムラがなく、結露やヒートショックのリスクも軽減し、健康的な毎日を送ることができます。快適と安心の両方を叶える、これからの時代の住宅に欠かせない仕様です。

冷房の効きがよく
涼しさをキープ

暖房の効きがよく
暖かさキープ

寒暖差で体に悪影響をもたらす
「ヒートショック」を抑制

結露を防止し、
カビやダニの発生を抑制

高い省エネ性
Ecologyエネルギーを上手に使い、
ムダなく心地よく暮らす。

高性能な建材や高効率の空調・給湯器、太陽光パネル等を活用することで、エネルギー消費を大幅に抑えた省エネ暮らしを実現できます。

省エネだからといって不便になるわけではなく、快適さはそのままに、無駄な光熱費を抑制。住むほどに実感する賢い選択で、家計にも環境にもやさしい暮らしが実現します。※以下は4kWの太陽光パネルを活用した場合の削減例。

毎月の電気代
約1.3万円

毎月約7,000円
削減！

年間、
約92,400円
削減！

※【年間電気代削減の試算条件】東京都北部の月平均の電気使用量＝約345kWh（「経世省設計調査2023」より）
345kWhの電気料＝約1,375円（「東京電力料金表」から算出。燃料費調整料金は令和6（2024）年8月分を採用）
売電価格＝16円/kWh（「資源エネルギー庁」より）設置容量4kWの太陽光パネルの月平均発電335kWh（「太陽光発電協会」より）売電・自家消費＝6（200kWh）÷4（133kWh）で、試算＝売電120円（@16円/kWh）、自家消費4,000円（@0.34円/kWh）より、月合計削減額が7,000円となり、年間で92,400円の削減となります。

再生可能
エネルギーの活用
Energyわが家がつくる、わが家で使う安心。
災害時にも強い暮らしへ。

太陽光パネルでつくった電気を、昼間のうちに蓄電池にしっかりとためておけば、夜間や停電時でも電気が使える安心の暮らしに。電気代の削減はもちろん、災害時の備えとしても強い設備です。東京都では、こうした再生可能エネルギーの導入を推進しており、補助金の支援制度も。わが家が電気をつくり、ためて、活かす——そんなスマートな暮らしが現実のものになります。

昼：発電してためる・使う

夜：ためた電気を使う

蓄電池

蓄電池

Total Cost Merit

環境にやさしい家は、
家計にもやさしい。

高断熱・高省エネの住宅には、光熱費の削減に加えて、補助金や住宅ローン減税といった制度も活用できます。

東京都や国が支援する仕組みを上手にえば、初期費用の負担を抑えることも可能。月々の光熱費も抑えられ、長い目で見れば、トータルで大きなコストメリットが生まれます。賢く進んで、お得に暮らしましょう。

燃費が良い家のコストメリット

制度	概要
補助金	東京ゼロエミ住宅 ^{※1}
補助金	住宅用太陽光発電等 ^{※2}
減税	住宅ローン減税

住宅建設費
最大240万円を補助

太陽光パネル：10万円～/kW
蓄電池：12万円/kWh

最大13年ローン残高の0.7%を
年最大35万円

※1 高い断熱性能の断熱材や窓を用いたり、省エネ性能の高い照明やエアコンなどを取り入れた、人にも地球にもやさしい省エネルギー住宅です。断熱性能と省エネ性能に両立した水準があり、住宅建設費最大240万円のうち、太陽光パネル等の設置費が削減されます。

※2 省エネ性能に優れた、国産にも優れ、健康にも安全な断熱材・太陽光発電の普及拡大を促進するため、国・都道府県・自治体等が設置等の設置に際して補助金を受けられます。

※天災被害に一定の要件等があります。補助金や減税にすべての方が受けられる制度ではありません。補助金の詳細は、東京都住宅・エネルギー政策推進センター、住宅ローン減税の減税は、お近くの税務署にお問い合わせください。

東京都では、リースなど、初期費用をかかずに太陽光パネル等を設置するサービスの助成により、サービス利用料の低減などを通じて住宅所有者に還元する支援も行っています。

最後に

快適な暮らしと未来の地球のために。
あなたの住まい選びが変わる一。
それが「東京都建築物環境報告書制度」です。

東京都では、カーボンニュートラルの実現に向けて、新築住宅にも断熱性や省エネ性能、環境性能にもこだわり、何度も情報収集を重ねた末に選んだのが、快適性とエコな暮らしを両立したこの住まいでした。実際に暮らして初めて感じた「体感温度の違い」や「家計の変化」、そして万一の災害時の備えまで……。これから家づくりを考える方にとってヒントとなる、Aさんのリアルなお話を伺います。

こうした取り組みは環境のためだけでなく、これまでも紹介するように、私たちの暮らしの快適さや家計の安心にもつながるもの。

夏も冬も過ごしやすい、光熱費も抑えられる、そんな住まいがこれからのスタンダードです。

マイホームを検討するのなら、地球にも家族にもやさしい、省エネ＆副エネもできる住まいを選びませんか？

